

令和2年度 島根県立大田高等学校 学校評価報告書

4段階評価：A＝十分に達成できている状況 B＝おおむね達成できている状況 C＝どちらかといえば達成できていない状況 D＝ほとんど達成できていない状況

評価の数値（％）＝総数における肯定的意見（4・3）の割合 *（0）わからないは除く 【4:十分できている 3:大体できている 2:やや不十分である 1:不十分である 0:わからない】

教育目標	1 真理を探究し正義を愛する生徒を育成する	2 個性豊かで社会的資質に富んだ生徒を育成する	3 健康的で勤労意欲旺盛な生徒を育成する
------	-----------------------	-------------------------	----------------------

重点目標	学校評価項目	教職員評価	保護者評価	生徒評価	自己評価		学校関係者評価	
					評価	概評と改善策	評価	提言
主体的・対話的授業改善 深い学びに向けた	本校は、教室内にあるICT機器(プロジェクター、タブレットなど)が活用されていますか。	97	86	96	B	・ICT機器の活用に関しては、今年度はコロナ禍の影響もあり、活用度が上がってきた。授業の特性にもよるが、教員により使用頻度には格差もあるので、今後は更なる積極的な活用をし、主体的、対話的で深い学びを実践していきたい。 ・生徒の学びたいとの気持ちに伝えようとするのは教員本来の姿でも有る。生徒の興味・関心が高まるような魅力的な授業づくりを目指していきたい。 ・これまでの継続として、授業改善プロジェクトを核として、様々な授業提案がなされてきている。自身の授業の中にどのように活かしていくのか、少しずつ教員個々の意識の変化に繋がってきている。公開授業や授業アンケート結果の検討も生かしながら授業改善を進めていく。 ・生徒は課題やスタディサプリに取り組むことに意義を見出してくれている。今後は、量的、質的な面について、教科を中心として常に注意を払っていく。 ・授業改善担当者を中心に課題解決型学習を進めるとともに、総合的な探究の時間で地域課題解決型学習を推進した。今後は総合的な探究の時間をより効果的な方法で実施する。 ・図書館に対する評価は、生徒からは辛めの結果であり、教職員からの評価も昨年比で下降している。アンケート等を実施し、利用しやすい図書館を目指していきたい。また、学期毎にテーマを決めて、お薦めの本を挙げてもらうなど、本に関心を持たせるような方策を考えていきたい。	A	・授業改善に積極的に取り組んでいる。 ・基礎学力の定着に力を入れており、様々な工夫改善が感じられる。 ・より良い学校になるよう、学校魅力化コンソーシアムに期待する。 ・地域探究活動においては、生徒がよく頑張っていた。グループ同士の成果発表会の際は外向きのPRも行い、活動を広く周知してはどうか。 ・西中学校では邇摩高校との交流があるが、大田高校の生徒とも同様の交流があるとよい。 ・入学生が定員割れをしないようになることを期待する。 ・個々の生徒に目を向けた指導を継続していただきたい。
	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちにえていますか。	94	81	86				
	公開授業や研修を通じて、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善が図られていますか。	97						
	生徒が宿題・課題やスタディサプリ等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	84	82	75				
	生徒を取り巻く様々な場面での学習で、課題設定・解決スキルを育てることを意識しましたか。	91						
	本校の図書館は、生徒にとって利用しやすいですか。	77		71				
	本校の図書館の蔵書構成(生徒が読みたくなるような本、調べ学習に役立つ本等)は充実していますか。	86		79				
	「図書館だより」「BOOKHOUSE」の配布、「読んでみよう！コーナー(生徒、教職員のオススメ本の展示)」等の掲示は、読書についての興味関心につながっていると感じますか。	87		66				
地域・家庭とともに成長する学校をめざす	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	70	95	85	B	・生徒指導については、今年度より分掌名を「生徒部」と改め、様々な観点から生徒と向き合うことを目指した。昨年度と比較し、3者ともに評価の向上が見られたが、今後も適切な指導に取り組むたい。 ・部活動については、3者ともに評価の向上が見られた。更に満足度のいく部活動経営ができるように引き続き全教員で協力しながら推進していきたい。 ・コロナ禍で内容を精選しながらの大高祭であった。生徒会担当を中心に予防対策を考え、生徒会にもいろいろな面で工夫していただいたが、このことが生徒全般に十分に伝わっていなかったのではないと思われる。様々な制約の中で良い学園祭が実施できたものとする。 ・ボランティア活動については、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け3件のみの依頼であったために、ボランティア自体の存在が目立たなかったということが数値の低下を表しているように考えられる。実際は、積極的に生徒は参加してくれた。今後も様々な機会を提供していきたい。 ・生徒及び保護者対象の進路説明会や講演会等計画どおりに実施ができた。年度当初に発行した進路便りの更なる活用を図っていききたい。 ・キャリア教育の推進を分掌間で連携して行っていきたい。 ・休日講座については、一定の評価は得られた形であるが、参加者が少なかったため、実施形態や広報を検討していきたい。 ・学年会では、生徒面談を通して生徒の希望を把握するとともに、文理選択やコース選択の際には教務部と、進路検討会においては進路指導部と連携を図り、適切な進路選択につなげられていると考えている。 ・今年度は、コロナ禍の影響でPTA総会をはじめ、PTAが主催する活動はほとんど実施できなかった。 ・コロナ禍の影響を受け、多くの学校行事や部活動の大会が中止または縮小した形での実施となり、保護者地域の方々へ提供する情報が少なく、学校の様子を伝える機会も減った。多くの方にホームページを見ていただくために、特に部活動の大会報告を早くアップすることが必要である。 ・地域探究学習を始め、生徒が大人と関わりながら、フィールドワーク等を通じて地域のことを学んだり課題を考察する機会が充実してきた。今後もさらに発展させたい。	B	・個々の生徒に目を向けた指導を継続していただきたい。 ・キャリア教育の一層の充実を期待する。 ・図書館の活用が一層望まれる。 ・どんなことでも生徒が気兼ねなく相談できる学校であってほしい。 ・小中高の連携を図られたし。
	部活動の内容は、生徒、保護者にとって満足できるものですか。	84	74	84				
	本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。			77				
	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	65	67	76				
	本校は、保護者進路説明会等を通じて、保護者に進路に関する情報を伝えていますか。	97	90					
	本校は、進路講演会や学年集会等を通じて、生徒に進路に関する情報を伝えていますか。	91		88				
	本校のキャリア教育や地域学習は、生徒に自分の生き方について考えるものになっていますか。	77	66	82				
	放課後補習(3年対象)や休日講座(1・2年生対象)は、生徒の学力向上に役立っていますか。	66	73	77				
	本校は、生徒それぞれの進路志望の実現に努めていますか。	88	79	87				
	PTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。(今年度は実施できず)							
自他の生命や人権を大切に する生徒の育成をめ	本校は、合理的配慮やユニバーサルデザインを意識した教育が行われていますか。	65			B	・すべての生徒にとって学校が暮らしやすく、学びやすい場となるように、学校全体で機会を捉えて考察していきたい。 ・自尊感情やコミュニケーションを高める取組に関して、今年度は「仕掛け」や「ふり返し」の機会が減った。今後は短時間でもよいので、意識的に機会を作っていきたい。 ・生徒の安全確保に関しては、コロナウイルス感染症への対応や気象状況の悪化に臨時休業など、メールやホームページ等で迅速に配信することができた。今後も危機管理に努めていく。 ・スクールカウンセラーの利用については、生徒や教職員には伝わっているが、保護者への周知は改善の余地がある。今後の周知に努めたい。 ・保健に関する情報発信保健講話等については、保護者や生徒から概ね好評評価をいただいた。 ・生徒の健康に関する対応や指導について、今後も丁寧な対応を継続していく。 ・人権に関する教育について、休校期間や長期休業明けに人権の大切さを意識させるメッセージを送るべきであった。コロナ禍の不安の中、これからは全職員が協力して生徒達をサポートしていきたい。講演会は、全校生徒を対象におこなっていききたい。 ・様々な場面で生徒とのコミュニケーションをしっかりとるように心がけた。生徒の何気ない変化にも担任間で情報を共有し迅速に対応できた。極力生徒と向き合う時間を確保し、今後も生徒が相談しやすい雰囲気づくりに努めていく。また、日頃から生徒に公平に温かく接し、生徒の信頼を深めていけるようにしたい。面談に関しては、一人ひとりの生徒としっかり時間を取って、生徒の思いを聞いた。生徒のやる気が促されるような声かけアドバイスを行った。一方で、面談等のあり方を考え、「共感」という視点を忘れずに今後も生徒対応していきたい。	B	
	本校は、自尊感情やコミュニケーション力を高める取り組みをしていますか。	81						
	本校は、生徒の安全確保(安全点検、避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど)を適切に行っていますか。	100	94	93				
	スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	94	73	95				
	本校の保健講話や保健室からの情報発信は、自分自身の健康管理に役立っていますか。		94	81				
	生徒の健康管理・維持への対応や指導は適切ですか。	97		86				
	本校では、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高める教育が行われていますか。	91	83	87				
	本校は相談しやすい学校ですか。	79	66	61				
	本校は、面談等を通して生徒理解に努めていますか。	97	85	80				
総合的に見て、本校に入学して良かったですか。		89	79					